

㊦ 最終報告書

国際交流センター長殿

2020年 4月 10日

○ I U学籍番号	G17026	氏 名	上野タイス
国 名	アメリカ	留学先	アーカンソー州立大学

留 学 期 間	2020年 08月 09日 ～ 2020年 03月 14日		
---------	-------------------------------	--	--

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

受講科目	受講期間	週当たり授業時間	取得単位数
Business Communication	2019/8/19-2019/12/20	150分	3
World History Since 1500	2019/8/19-2019/12/20	150分	3
Marketing	2019/8/19-2019/12/20	150分	3
Introduction to Model United Nations	2019/8/19-2019/12/20	150分	3
Organizational Behavior	2020/1/13-2020/3/14	150分	3
Advertising Strategy and Sales	2020/1/13-2020/5/11	150分	3
Supply Chain Management	2020/1/13-2020/5/11	150分	3
Professional Selling	2020/1/13-2020/5/11	150分	3

履修・教務、学習面について

履修について-アメリカでの履修登録は基本早い者勝ちです。上級生から日付が設けられます。各クラス人数が決まっており、定員数に達したら履修ボタンを押すことができなくなります。その場合、定員オーバーの申請を出す必要があります。先生に出す場合と申請用のフォームがあるときなどがありますので、まずはメールをされるといいと思います。あとは、友達と連絡を共有しながら空きを探したりすると効率が良かったりします。授業選びは人に聞いたり、シラバスを見たりして選びます。アメリカはシラバスに課題の提出期限だったり、テストの回数なども分かる上に、シラバスに沿ってほとんどが授業をするので、進みが早いかなども分かります。

学習面について-アメリカの学生は基本学内か図書館で勉強する人が多いです。図書館は夜遅くまで開いているので、利用する学生は多いです。学習面でとても助かったものはノートパソコンです。図書館にパソコンはあるのですが、台数があるにも関わらず人でいっぱいになります。基本インターネット上でやる物が多いので、いちいち図書館に行くより自分で持っていた方が楽だと思います。勉強の仕方は、人それぞれだと思いますが、予習と復習は大事です。予習した前提で授業が進んだり、始まる前に何を学んだかということ当てられることもあります。先生によっては、まったく授業が進まないこともあるので復習でパワーポイントを使用したりすると分かりやすいと思います。

生活面について

アメリカでの生活で特に困ったことは、食事です。私は特殊な例で留学生用の寮ではないところに住むことになりました。月間報告にも書いたのですが、NPQという寮になると必ずミールプランが必要になります。理由は、キッチンがないからです。シンクはあるのですが、コンロやオーブンはありません。冷蔵庫やその他の家電製品があるかどうかは正直運次第です。前の住居人が残していたりする場合やほかのルームメイトが持っていたりすることもあります。期待しすぎないほうがいいです。このようなことから、NPQに住む場合はミールプランが必須です。ミールプランは色々あるので、自分の生活に合わせた物を選ぶといいです。始まったばかりの期間なら、一定期間変更が可能だったりするので交渉して変更するのも有りです。春学期、秋学期で変更することも可能です。問題は、FLEXと言われる学校内や近くのコンビニで使えるお金があります。ミールプランを付けると必ず付いてきます。食堂のごはんに飽きたりしたときに、フードコートで使ったりスタバやベーグル屋さんで使ったりもします。人によっては、使い切れないほどのお金が入っているので、スタバのマグや購買で生活用品を買う人もいます。ミールプランを変更するとFLEXが無くなることもあるので、変更する際はしっかり確認しておかないとお金を失う事と同じことが起きます。

住んでいる寮がどうしても嫌だという場合は、2～3週間ほどすると”non question day”という日が設けられます。その時にいけば、引っ越しすることが高確率で可能です。寮によっては、単位数や学年の条件があるので満たしていないと入れません。”non question day”でできなかった場合、次の学期に変わるときに申請することができます。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	200	万円		
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	31	万円		
	海外旅行傷害保険	約	16	万円		
	査証（ビザ）取得費用	約	6.5	万円		
	日用品	約	2	万円/月×	9	ヶ月
	食費	約	5	万円/月×	9	ヶ月
	寮費	約	6	万円/月×	9	ヶ月
	水・光熱費	約	0	万円/月×	0	ヶ月
	インターネット	約	0	万円/月×	0	ヶ月
	利用方法 <input checked="" type="radio"/> 学内で利用 <input checked="" type="radio"/> 寮で利用 インターネットカフェ					
	複数回答可。○をつけること。					
	その他（用途：教科書） 前期 5万 後期 6万					
その他（用途：mail box） 約 4000円/6か月						
（医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば）						

滞在中の経費について

滞在中の経費は思ったよりかかりました。払うべきものと払わなくてもいいものと色々あり、オリエンテーションの時に知らなかった請求をされたりしました。現金でしか払えないものもあるので、現金を持っておくといいと思います。基本はデビットカードやFLEXで支払いをしていましたが、割り勘をするときや現金しか受け付けないところのために現金を持っていきました。私は現金で500ドル分くらい持っていきました。学内にはATMがあるので、お金を引き出すことは可能です。問題はお金が入っていないときがあります。なので、急に必要になってもあるとは限りません。私はクレジットカードとデビットカードを一枚ずつ持っていきました。お金の払いは学内の窓口かインターネットです。窓口の場合、現金しか受け付けません。インターネットだと、色々介入する会社があるので一番安いのを選ぶといいと思います。お金を節約できる場所は、教科書です。レンタルしたり中古の物を買って安く済みます。購入場所は学内の本屋か近くの古本屋的などところがあります。AMAZONなどで見てみて安いところで買うことや、学生から買うこともできるので、色々駆使して安くすることができます。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

出発前は連絡がなかなかこなかったり、システムエラーが起こったりと大変でした。準備としては、授業のシラバスを読んでおいたり基礎的な英語の勉強をしておくといいと思います。自分が必要なものや必要になりそうなものを考えながら荷物の準備をした方がいいと思います。冬が長いイメージを持って服や日用品などを揃えることをお勧めします。現地で買うものや置いていくものなども考えたうえで消耗品などは持って行っていいと思います。余裕があれば、日本の物もあるといいです。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

私は、読むのがあまり得意ではないので少しでも多く読む努力をしました。あとは、聞くのが得意な方なので、授業中は必死に聞いてノートをとりました。付箋を使ってメモを書き教科書に貼ることをしました。話の流れを覚えられるので、例え話も聞き逃すことなく書きました。暇なときは友達と会ったり、BCMというグループのようなものの集まりなどに行きました。息抜きになりますし、会話もできるのでとてもおすすめです。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

困ったことは、質問や何か問題を解決をするときに担当のところに行くとなら回り回りにされたり、難癖をつけられて対応してもらえないときでした。アメリカでは、交渉力と言いますか負けたら何もしてもらえません。各課の受付は学生が対応しているのでめんどくさいと何もしてもらえなかったりします。その時には、しつこく何度も足を運んだり、留学生の担当の人に言って対応してもらおう方法もあります。このように、方法はあるのですぐにあきらめるのではなく粘ってください。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

今回の留学は悔しくも、完走することができませんでした。7か月間で多くの事を学ぶことができました。書ききれない大変な思いもうれしい思い出もたくさんあります。どれもがいい思い出で私は7ヶ月間で変わることができました。不安は尽きないと思いますが、このような経験ができるのは学生ならではだと思います。同じ世代のアメリカ人だけではなく、各国の人と関わることができます。同じ日本人の留学仲間は、この留学で友達が100人以上できたそうです。私は毎日連絡が絶えないほどの友達ができました。全てを伝えることは難しいので、知りたいことや写真などが見たい人は気軽の連絡ください！留学で損することはありません。